

## ぼくからの平和発信

沖縄県立名護特別支援学校 中学部三年

三輪 直生

ぼくは、だれかにほめられることが好きです。いいことをして、だれかからごほうびをもらうのがうれしいです。だから、ぼくは、いろんなことがんばっています。中学部のみんなを元気いっぱいにしたいくて、生徒会長になりました。行事を行うたびに、たくさん先生から、よくがんばったねと声をかけられます。また、毎年漢字検定にちょうせんしています。一年の時は十級に、二年の時は九級に合格して、しせつのしょくいんから、ぼくの大好きななっとうまきをもらいました。とてもうれしかったです。また、しゅくだいや朝の会での発表をすると、たんにんの先生がほめてくれます。

ほめられることを通して、ぼくはあることに気づきました。ぼくのことをほめてくれる時、ほめてくれる人みんなが笑っているのです。先生も友だちも、とてもすてきな笑顔になります。そしてぼくも笑顔になります。先生が笑うとうれしくなります。しょくいんが笑うとハッピーになります。友だちが笑うとちょうハッピーな気もちになります。でも、ほめられることだけをしているわけではありません。ぼくも、みんなのことをほめてあげています。先生たちにかんしゃのことばを言っています。ぼくの笑顔でまわりの人を笑顔にしたいから。

でも、戦争をしている国については、ぼくはほめません。沖縄の海を大事にしない人はほめません。人と人が、固と国が殺し合うことはいけないことだからです。人が悲しんだり苦しんだりするのはいけないことだからです。戦争はぼくたちにひつようありません。ぼくたちにひつようなのは、いつでも笑えるからです。いつでも泳げる青い海です。ど

うか、ぼくにほめてもらえる平和な日々をこれからもつづけられるようにしてほしいと思います。そうしたら、ぼくはとってもすてきな笑顔でほめてあげたいと思います。きっとおこっている人も、なっている人も笑顔になるでしょう。笑いながらケンカや戦争をする人はいないので安心です。ぼくの笑顔からみんなの笑顔へとつなぎ、そして世界中へと笑顔の和を広げていき、平和の発信をしたいと思います。